

Rotary



国際ロータリー  
第2620地区

# 御殿場 ロータリー クラブ 週報



御殿場  
ロータリークラブ  
モバイルサイト

<https://www.gotemba-rc.jp/>

## 第2823回 例会プログラム

- 例会場 / 東山荘講堂
- 開会点鐘 / 12:30
- 国歌斉唱
- ロータリーソング / 四つのテスト
- 内容 / 青少年奉仕月間卓話  
エビスLLC 代表社員 戸栗哲平様

## 会員慶事

- 会員誕生日 / 5月20日 林 泰博君
- 結婚記念日 / 込山正一郎君 晴子様 ご夫妻
- 皆出席 / 4月23日 大胡田明寿君(ロータリー歴17年)  
4月28日 長谷川雅也君(ロータリー歴10年)  
4月28日 鎌野篤志君 (ロータリー歴10年)

## 会長挨拶

豊山 篤



ロータリークラブの第一標語である「超私の奉仕」(Service Above Self)。これを個人のメンバーにあてはめた言葉が『I serve』であると思われます。会員一人ひとりが、自らの職業や個人の生活を通じて社会に奉仕する、というロータリーの根本的な姿勢を表す言葉です。つまり、「私は奉仕する」という理念で、奉仕の主体は“クラブ全体”ではなく“会員一人ひとり”であるという考え方を示していると思われます。

それと対比されるのがライオンズクラブの『We serve』の標語です。ライオンズクラブの例会や式典の中で『We serve』はよく耳にします。私の感覚ですが、ある意味『We serve』や社会奉仕はわかりやすい言葉と言えます。

世の中に対して目に見えやすい奉仕のやり方は理解しやすいですが、自分の職業を奉仕に昇華させる職業奉仕は、すぐには理解しづらいのかもしれませんが、で

もそこがロータリークラブのロータリークラブたるゆえんであると思います。

最初から全員で同じ方向を見て進むのではなく、個々の職業を元にして、理解も発展もまずは個人が発点となり、一人ひとりが学びを蓄積して、その集合体としてのロータリークラブを構成していく、このような理解を私はしています。

改めてロータリークラブの根本を自分なりに紐解いてみると、自分の勉強不足がよくわかります。ロータリークラブのメンバーでありながらまだ精通していないメンバー同士で、少しずつ知識を深めていければと思います。

追加知識として、ロータリークラブの根幹をなすもう1つの標語が、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」(One profits most who serves best)です。

これは読んで字のごとく、簡潔な言葉ですが、それを実践するとなると、大変大きな言葉であると感じます。

まだまだ足りないことだらけですが、少しずつでも前進していきたいと思えます。



## 4/23の出席報告

欠席者(2名)

会員数	出席計算に用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の確定出席率
52名	48名	46名	95.83%	100%

神谷高義君 芹澤隆博君

※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。

## 4/2の メーキャップ

3月27日	北海道Eクラブ	池上 司君
4月1日	北海道Eクラブ	根上真一君
4月1日	北海道Eクラブ	嶋田康一君
4月4日	北海道Eクラブ	瀬戸正人君

4月13日	北海道Eクラブ	高橋隆造君
4月13日	北海道Eクラブ	田代明人君
4月23日	北海道Eクラブ	永木栄太君



よいことのために  
手を取りあおう

次回  
5月21日の  
例会

- ★東山荘記念館
- ★6:30
- ★早朝例会(勝又立雄様)  
クラブ運営委員会

### 第3回クラブ協議会



会長エレクト **渡辺修司君**

皆さん、こんにちは。  
次年度、会長を務めさせていただく  
予定の渡辺です。どうぞよろしくお願  
いいたします。

まず率直に言いますと、「いよいよ来たか」という気持  
ちと、「本当に自分で大丈夫か？」という気持ちが丁度半  
分ずつです。ただ、こうして皆さんを見てみると、きっと  
助けてくれるという安心感が生まれてきますので、それを  
信じて頑張りたいと思います。

私はロータリークラブに入れていただいてから17年余  
り経ちますが、その半分以上は親睦委員会に所属させて  
いただいていたような気がします。ですのでロータリー＝  
親睦という思いが強くなりました。しかし、親睦だけが独  
り歩きをしてなれ合いになってはいけないと思います。そ  
こには規律という器があって、親睦という中身がある。器  
がしっかりしているからこそ、中身がこぼれず、安心して  
楽しめる。そんな活動が理想だとは思いますが、そのバラ  
ンスをどうとるか。私は2つのポイントがあると思います。

1つ目は「基本を大切にすること」。時間を守る、例会  
に出席する、役割を果たす。当たり前のことを当たり前  
にやる。これは難しいですが一番大切だと思います。

2つ目は「相手への思いやり」。規律というとルールに  
目が行きがちですが、その根底にあるのは相手を不快に  
させないという気持ちです。時間を守るのも、話を簡潔  
にするのも、すべては相手のため。そう考えると規律はぐっ  
と温かいものになります。

「規律があるからつまらない」のではなく、「規律がある  
からこそ安心して楽しめる」、そして外から見て「あのクラ  
ブは規律があるのに、なぜか楽しそうだ」。

そう云われるようなクラブを目指したいと思います。そ  
れが最重要課題の会員増強にも繋がっていくのではないで  
しょうか。

来年度は、60周年という節目も踏まえながら、「規律と  
親睦のバランス」を大切にしていきたいと考えております。

また、今年度豊山会長の下で多様性という変化が起き  
つつあります。その変化を受け継いで、持続させていける  
ように頑張りたいと思います。

最後になりますが、会長1人では何もできません。会長  
エレクトと云いながら、実際は皆さんに助けていただく準  
備中の身です。どうか来年度は、遠慮なくご意見をいた  
だき、そしてあたたかく支えていただければ幸いです。



クラブ奉仕委員長 **大胡田明寿君**

クラブ奉仕は、1931年RIが発行した解  
説書に「クラブ会員がクラブに対して果た  
す義務であり、クラブがクラブ会員に対して  
果たす責務」と記されています。クラブと  
会員とが相互に奉仕することで、活気あるクラブを目指します。

また、ロータリーの友2月号に、「今こそクラブ奉仕を」の  
投稿がありました。そこには、「ロータリー運動は、本来自己  
教育によって、会員が職業人として、人間として成長すること  
を目指すものである。」と記載されていました。「入って学び、  
出でて奉仕せよ」。ロータリー本来の姿は、クラブ奉仕の充  
実と実践でなされます。

新会員の皆様の自主的で積極的な委員会参加をお願いし  
ます。

委員会方針は、渡辺会長方針の実践と、60周年記念実  
行委員会と連携し、協力することです。

そして、斎藤年度から3年間、クラブの例会数や、年会費、クー  
ルピズ導入等組織運営での大改革を断行して頂きました。しか  
し、10回例会が減ったことで、学びと奉仕の機会は確実に減  
少しました。ロータリーは組織的側面と、「4つのテスト」や「超  
我の奉仕」といった理念的側面があります。そこで、テール  
会やファイヤーサイドミーティングを開催して補っていきます。

60周年の年、クラブ奉仕の充実が、奉仕の樹を大きく成  
長させ奉仕の実りをもたらします。奉仕委員会各委員長の皆  
様のご尽力と会員の皆様のご協力をお願いします。



奉仕プロジェクト委員会  
委員長 **斎藤 衛君**

次年度の奉仕プロジェクト委員長の斎藤  
衛です。職業・社会・国際・青少年の4  
奉仕委員会を代表する役です。

若林ガバナーエレクトの方針は「持続可能なインパクトを  
生み出そう」「RI第2620地区は3S simple slim slow」  
「3Kを大切に k会社 k健康 k家族」です。

次年度は 3-Year Rolling Goals 最後の年です。当クラブ  
はビジョンを定めましたが長期的計画（戦略計画）はありま  
せん。クラブ行動計画推進委員会活動計画からの引用ですが、  
概略として『「持続可能なクラブ」をめざし、入ったら楽しい、  
面白い、「入りたいクラブ」になること。地域社会から「必  
要とされているクラブ」になること。』でまとめるのがいいの  
ではないでしょうか。

次年度は「第2グループ合同奉仕事業は行わない」とのこ  
とです。実施予定事業は「富士山清掃及び英国旅客機遭難  
者慰霊碑参拝」「End Polio 募金」「未来への手紙」「フード  
ドライブ」「60周年記念事業として寄付など」です。各奉仕  
委員会で例年通り卓話なども企画します。次年度もご協力よ  
ろしくお願いいたします。



司会  
林 泰博君



出席報告  
永木栄太君



ソングリーダー  
梶 喜朗君



会員誕生日  
山内 剛君 池谷正徳君



退会  
池上 司君 瀬戸正人君